

おはようございます。私は、一般社団法人清水沢プロジェクトの佐藤真奈美です。
今日は、ゆうばり丘の上こども園のみなさんに、プレゼントをしたくてやってきました。
これ何に見えますか？そうです、すべり台です。
が、すべり台だけじゃないんです。これは、たくさんの人の思いが詰まった記念のものなんです。
一体何でしょうか？少しそのお話をしたいと思います。

年長さん、これからどこの小学校に行くんですか？
ゆうばり小学校ですね。はい、おめでとうございます。

なんとここにも、いまから 33 年前まで、「清水沢小学校」という小学校があって、たくさんのお兄さんやお姉さんたちが勉強をしていた場所だったんです。先生方の中にも、ここで勉強したひともいるんですよ。
清水沢小学校が引っ越しして、いまのゆうばり小学校になりました。

学校は引っ越ししたんですが、この場所には長い間学校があったところと同じように、建物も、園庭ではなくて校庭も残っていました。

ところが、この場所にあたらしく丘の上こども園を作ることが決まり、古い校舎を壊す工事が始まることになりました。

前に小学校が合った場所に子どもたちが通うことになることを地域みんなが喜びましたが、一つ気になることがありました。

小学校に生えていた木のことで。

長い間、清水沢小学校の子どもたちを見守っていた木を工事で切らなくてはならなくなりました。

仕方がないこととはいえ、もったいないし、悲しいなと思った私たちは、市役所の人たちと話をし、木を譲ってもらって、切った木から子どもたちが喜ぶ記念のものを作ることにしました。

そこで、みんなでお別れ会をして、8種類の木を切りました。

玄関の前に生えていた大きなハルニレの木は、植えられてから 75 年くらいたったそうです。そして、私たちは、そのハルニレの木を使って、ここに小学校があったこと、学校の木が多くの子供たちを見守っていたことを忘れないように、そして丘の上こども園のみなさんや、夕張の子どもたちがすくすくと大きくなることを願って、木のすべり台をつくることにしました。

夕張市内の人だけではなく、みなさんのことを思う全国各地の人達 48 人がお金を出し合って、ここにいる美術家の櫻井亮さんが作ってくれました。

これは、みなさんがたや、子育て支援室に来る小さなお友達に使ってもらえるように、夕張保育協会さんにプレゼントします。みなさんが元気で大きくなることをたくさんの人たちが願っています。

最後に、社会福祉法人夕張保育協会のみなさま。この度は私どもの申し出をご快諾いただき、心より御礼を申し上げます。完成まで時間がかかり、一号認定のみなさんの卒園に間に合わず、ご心配をおかけしましたが、数多くの皆様の思いが詰まった記念オブジェを兼ねたすべり台が、この地で末永く子どもたちの成長を見守ることができるよう願っております。どうぞこれからもよろしく願います。ありがとうございました。